

令和4年度 第3回蒲江地域振興審議会

令和4年10月25日(火) 19:00~21:00

蒲江振興局 2階 203会議室

(委員12名中7名出席) (事務局：蒲江振興局6名)

川上会長	増野局長
浪井委員	飛高課長補佐
水本委員	中元総括
伊東委員	山本主幹
山田委員	中西副主幹
村裕委員	後藤事務員
山崎委員	

- ・出席者 委員7名、事務局6名、計13名
- ・公開、非公開の別 公開
- ・傍聴人数 0人

発言者	発言内容
山本主幹	<開会> 定刻となりましたので、ただいまから令和4年度第3回蒲江地域振興審議会を開催します。本日の審議会は、審議会委員12名中7名の出席を頂いており、「佐伯市地域振興審議会条例」第6条第4項の規定により、委員の半数以上が出席されていますので、本会が成立することを申し上げます。 続いて、次第2の会長あいさつ。川上会長お願いします。
川上会長	みなさんこんばんは。急に寒くなりました。日中仕事がお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。順調に行けば本日で最終審議となると思います。審議の方よろしくお願いします。
山本主幹	次に次第3の議事に入りたいと思います。「佐伯市地域振興審議会条例」第6条第1項の規定により、会長が議長になりますので、川上会長に議長をお願いしたいと思います。川上会長お願いします。
川上会長	早速ですが議事にはいります。 前回、修正部分の説明からお願いします。
中元総括	前回修正分をご説明いたします。 総合計画（後期基本計画）（案）資料1にて説明。
川上会長	はいありがとうございます。この変更部分については、よろしいでしょうか

山田委員	すみません、2点ほどありまして、1点目は3のアの(ウ)は屋形島・深島は入れていいのか前回外す意見がありました。2点目はイの(ウ)の最後の方は「つなげていく」で終わっている。他は名詞で終わっているので実施とか取り組むとかで終わった方がいいのでは。
中元総括	アの(ウ)ですが、屋形島・深島を外す案がでましたが、蒲江として屋形島・深島は力を入れてきているので、これを外すとメイン的はものがなくなるので、是非残していただきたいのであえて残しました。イの(ウ)ですが、まだオーガニックについての知識も少しなので、ブランド力の向上につなげていくにとどまっています。文面はいい案がありましたらお願いします。
川上会長	山田さん因みに文面のいい案がありますか。 他の委員のみなさんもいい案がありますでしょうか。
山田委員	取り組みを付け加えたらいいと思います。
山崎委員	蒲江ブランド力の向上につなげていくとありますが、とりあえず認知してもらう方が先かなと知ってもらってつなげていくとか大幅に広げていくとか知ってもらわないとつなげることもできないので周知とか認知とか知らせた方がよいのではないかと。
中元総括	イの(イ)に蒲江ブランドの発信と県内外でのPR等の記載があり、そこで知ってもらおうとありますのであえて(ウ)に入れてないです。
川上会長	では、先ほどの「蒲江ブランド力の向上につなげていく」の後に「取り組み」を付け加えることように変更します。 続いて、これからの方針のエ、主な取組のエについて、質問・意見がありましたらお願いします。
山田委員	現状と課題でもそうでしたが、前期の計画では、「閉校後の学校施設」と明記されていましたが、今回は「施設」に変わっていますが、学校施設に特定しなくなった理由、外した理由は。
中元総括	理由としまして、閉校した学校施設だけでなく、保育所や診療所、種苗センター等色々な施設が閉園、閉鎖されているのでそれも含める形で「施設」という表示にしました。
山田委員	理由が明確だということが分かりました。学校施設とほかの施設と同じ考えでいいのかどうかそこを検討されてのことか。今まで学校施設は特別だと説明されてきたので。
中元総括	学校については制約ありますが、他の施設のそれなりに制約はあると思いますので、今回一緒に考えて「施設」とさせていただきます。
川上会長	旧蒲江町時代作った施設、跡地など現状どのくらい使えるのか等把握、調査して情報発信して活用促進していく必要があると思います。
山崎委員	(イ)について、初めて蒲江に来た人が国道沿いやその他の道路沿いに避難標識がどこにあるのか、あまり見た記憶がないが初めて来ても避難対応ができ

山崎委員	る標識を設置するべきではないか。(エ)について高齢者避難の件かと思うが、方法として実際に対応が可能か厳しいのではないか
川上会長	私も(イ)に関しては同感で、旧他町に行くといたるところに案内標識があるように思える。蒲江は少ないように感じます。
中元総括	蒲江について、一応避難路や避難地の標識は設置済みとなっていますが、目立たないところや分かりにくいところもあると思いますので、見直しを含め確認していきたいと思います。
川上会長	他の市町村を意識して見て、分かりやすい表示があれば参考にさせていただきたいと思います。
後藤事務員	(エ)について前年担当者なのでお答えします。南海トラフ地震が発生した後に津波が来るまでの支援者プランなので、障がい者や高齢者の方が同じ世帯に居て避難が難しい場合で、近くの人で避難地まで連れていってもらおうプランになっています。 毎年、障がい者や高齢者へプランを区長と相談し作っているものです。変更は支援者がいなくなったり、状況が変わった場合に変更しています。
山崎委員	個人・支援者だけでは避難が無理な場合もあると思うので地元の消防団に情報を提供すれば対応可能だと思うがどうか。
川上会長	私も区長して年1回、市から依頼があり、そのデータをもとに個別に家を回り支援が必要か聞き取り市へ提出している。それは、消防団にも回っているのかどうなのか。
後藤事務員	消防団には基本的に回してない。同意書等個人情報を含むものなので、地域の支援者、同意してもらっている方のみとなっている。どうしても支援者が対応できない場合も可能性があるので、今後、本庁と協議する必要があると思われます。
山崎委員	今後優先的に支援が必要な方があれば、消防団が支援するので地区で名簿を出してくれれば、優先できるので情報共有ができればと思うので、考えてみて欲しい。
川上会長	私からもお願いします。 消防団はフォローアップもできると思うので、本庁と相談して改善できる点あればお願いしたいと思います。その他ありますか。
山田委員	(エ)について、文章のつながりがよくないので、例えば避難行動要請支援者支援プランに変更があった場合の自主防災会、社会福祉協議会等と協議に修正したらよいと思います。文面はお任せします。
浪井委員	(ウ)の津波対策用備蓄倉庫は津波対応だけなのか。また、大規模災害は被害額がどのくらいで大規模災害なのか、先日の台風14号は大規模災害に入らないのか。

川上会長	基本的には災害備蓄品は避難所におられる方へ地震や風水害であれ避難所にいる方に使えると認識しています。
増野局長	大規模災害とは何かと申しますと、南海トラフ地震のことで、備蓄倉庫が建っているところは、津波が来ないところに想定しています。その想定で建てていますが、当然地震しか使えないことはなくて風水害で使用は当然できると思います。
川上会長	もうひとつの大規模災害についての規定というのはあるかとの質問ですが、昨日の台風14号は大規模災害にあたるのかそのへんは。 激甚災害に認定されたのか。 ニュース等では、認定するような話がでていているらしいです。
伊東委員	(オ)の行政ラジオのことなのですが、先日の台風14号の時に猪串地区は停電でネットが使えず、ラジオだけだった。いちばん聞こえたのは「FMさいき」だった。それ以外聞き取れなかった、FMさいきはずっと音楽が流れていた。FMさいきは防災放送に切り替わると思っていたが変わらなかったようだ。
川上会長	普段、FMさいきを聴くが、防災情報は流れているように思える。 防災情報に協力し、避難経路も放送しているようだ。 その辺の切り替えはどうなっているのか。
増野局長	先日の防災会議に出席したが、そういう話は出てこなかった。前回の地震で電池がなくなったり聞こえなかった等の苦情があった。改善をしたと思ったが、この事例が来たので、防災局の方へ意見を出して確認したいと思います。
伊東委員	携帯も使えなかった。他地区は使えたので、そんな細かい情報をFMさいきで流してもらえたらと思う。
増野局長	反省会の中で、背平山も携帯基地が停電で使えなかったので、繋がらない時間が長かった。災害時の情報発信の仕方について、今後検証し今後活かしていきたいと思います。
水本委員	(ア)について、避難訓練のことかと思いますが、大体日曜日の午前中に実施されるが、参加できない人多いと感じる。子育て世代は、子どものスポーツや習い事などで参加できない。高齢者と子供と一緒に避難し触れ合うことでいいことだと思うが、人口も減っていて、より参加者が少なくなるのではないか。人々が触れ合って皆が参加できるような工夫が必要だと思う。
増野局長	防災訓練については、来月13日に実施されますが、教育長から部活やスポーツ少年団など避難訓練に参加するため、活動はしないように話があっている。
川上会長	私も区長として、数年避難訓練に参加していますが、参加者が年々減ってきている状況にあると思います。地区内でも呼びかけをしていますが、市全体として、住民が積極的に参加するように、取り組みを行っていただきたいと思い

村松委員	<p>ます。</p> <p>消防団のことですが、コロナに入る前からそうですがコロナに入って、訓練的なものがなくなって、先ほどから災害に備えての話があるが、消防団のレベルが低下し、若者も入団してきて消防に関しての知識が少なく、災害等に対応できるか心配で、訓練等を実施して欲しい。</p>
増野局長	<p>内点検の実施について、来週消防の幹部会がある。どの旧町村も内点検をするとのことなので、蒲江も実施になると思います。消防活動もウィズコロナで以前のように実施していくようになると思います。</p>
川上会長	<p>これからの方針と主な取組は承認されたということによろしいですか。異議なしで承認されました。</p> <p>次に4の重点プロジェクトについて、事務局一度読み上げてください。 読み上げ</p>
山崎委員	<p>帯同というか何かのイベントで一緒に回り、市外から来る人に説明できる職員を作っておく必要がある。ブランド力は発信する方が何も知らないと厳しいのではいか、SNS等で発信できる人、観光案内できる人等育成して欲しい。</p>
中元総括	<p>各振興局にいる職員は、その地域のことを知って情報提供、発信するのは大事なことでありますが、足りてない部分もあります。その地域にいるので情報発信していく必要はあると思いますので、今後は研鑽を積み周知していきたいと思います。また、町の中にも、地域や観光に詳しい方もいらっしゃると思いますので、お互いに協力し合いながら発信していきたいと思います。</p>
川上会長	<p>イの（ア）にありますように、ソーシャルメディア・SNS等を活用したとありますので、ぜひ、地域のいい所など情報発信できるような人材育成して、蒲江独自の発信ツールをもってもらいたい。</p> <p>私から、施策の海の恵みを活かすまち蒲江とありますが、佐伯市でも海に面したまちは、上浦、旧佐伯、鶴見、米水津、蒲江とありますが、例えば大分市内の人が蒲江に来てもらうためにはどのようなことを考えていますか。</p>
中元総括	<p>蒲江は、魚がおいしいと漠然と知っている人は大分県でも多いと思いますが、他とは違うものを出すために観光スポットの再発見や磨き上げを行っていき、現在の課題を出し合いながら違った形で蒲江を出して行けたらと思っています。</p>
川上会長	<p>例えば、同じものでも、写真や情報の発信の仕方で少しの差で違ってくると思います。水本委員その辺りでいいアイデア等お持ちでないですか。</p>
水本委員	<p>SNSをやっている、今日民宿にお客さんが来ていますが、料理や宣伝でもなく、子どもが捕まえたウミウシの動画を見たと言っていた。宿泊した直接のきっかけではないと思うが、料理もありプラスアルファがあつてその点も考慮されていると思います。情報発信は上げすぎても良くないが、自分自身が</p>

	<p>感じている蒲江の良さが伝わればいいと思う。</p> <p>先日デザインのセミナーに行った、経営にデザインの力を使うことが大事と学んだ。自分たちにどんな課題があるのか見つけるのも大事だが、自分達が見ても見ない視点で課題や改善点を指摘してもらうことも大事なことだとの話があった。第三者の目、専門家も含め必要だと思った。</p> <p>私たちは、佐伯の蒲江在住で中からしか見てないが、外からの目や意見も必要だと感じ、それを取り入れる必要があると思う。</p>
川上会長	<p>色んな可能性があると思います。プロジェクトが実効性のあるものになるよう活動していただきたいと思いますし、皆で協力し合いながら可能性を探って行けたら良いと思います。</p>
山田委員	<p>関係人口増と書いているところと、山崎委員が言った蒲江観光に係る人材育成は関係があると思い、とても良い意見なので「蒲江観光に係る人材育成」をここに入れてもらうと関係人口増に繋がるというところに掛かってくると思います。</p>
川上会長	<p>人材育成をこの中に入れることでよろしいでしょうか。異議なしなので取り入れたいと思います。</p>
山崎委員	<p>振興局の人が SNS 等発信するために、蒲江内の地場産業や地域の写真など、普通の生活を発信すれば見る人は見るので、常に情報発信、更新を続けることが大事と思う。</p>
中元総括	<p>最初のところで悪いですが、少子化が続くとありますが、少子化のことについて特に取組を示してないが項目は新たに作らなくてよいのでしょうか。</p> <p>SNS 等は実施できる人ばかりではないが、情報を発信していくことはとても大事なことです。率先してそれに関わる姿勢で行きたいと思っています。少子化の問題については、重点プロジェクトにもあるように観光スポットの再発見や磨き上げを行い、人口増まですぐには難しいですが、それに繋がるように取り組んで行きたいと思います。</p>
川上会長	<p>おそらく市、振興局でも少子化のことは取組をされていると思いますので、次期以降そう言うところに着眼していってもらいたいと思います。</p> <p>最後に別紙にある、目標指標について事務局説明をお願いします。</p>
中元総括	<p>別紙により、目標指標の数字の説明。</p>
山崎委員	<p>この数字は、1年間に蒲江に来るであろう数字ということなのか、アバウトな数値であると思うが。</p>
中元総括	<p>この目標値は、5年後に年間に蒲江に来る入込客の目標の数値としてあげている。</p>
山崎委員	<p>道の駅かまえ、インターパーク等訪れたすべてを含めた数値ということなのですか。</p>
中元総括	<p>ここに上げている数値は、基本的にはレジを通った数値をあげています。#</p>

山崎委員	<p>お金を落とした数ということで、研修とかそういうものは入ってないということですね。小学校の児童が養殖施設に見学来た場合は入ってないですね。</p>
中元総括	<p>入込客とすると、そういう数は入ってない。帰りに道の駅などに寄って買い物すれば数値に上がりますが。</p>
増野局長	<p>補足させていただきますが、入込客についてお金を落とすことについては、考えているが数値化することが難しい面がある。インターネット販売などは蒲江に来ないが、蒲江の色んな施設で物を買っている。そんな数字を拾い上げたいが、各方面に聞くが中々難しいようです。それもあり、従来の入込客の数値にせざるを得ない状況です。5年後の総合計画ができるまでに、技術が発達してそういう数値が拾えるようになればと思っています。今回はこの方法での数値目標しかできないので、この目標数値に近づいていくよう事業展開をしていきたいと思っています。</p>
山崎委員	<p>自分はフェイスブックとかしているが、魚を載せて良かったら買ってもらっている、関東や関西に4人ぐらいいて、それが縁で蒲江まで来てもらって食事や施設見学をしている。これから SNS 等で情報発信していけば、目標数値も可能だと思う。</p>
川上会長	<p>今後の取組の参考して頂ければと思います。</p>
山田委員	<p>交流人等と入込客数はイコールということでしょうか。 関係人口と入込客数となるとおかしくなるので、そのすみ分けはしときたいと思います。あくまで交流人口と入込客数であればよいと思います。</p>
川上会長	<p>ほかになれば、提案されたものは全て審議承認されました。</p>
増野局長	<p>次の5年にあたって、この計画への意気込みを局長お願いします。</p>
増野局長	<p>今後5年間の審議をいただきました。ありがとうございます。</p>
増野局長	<p>計画、目標値ができましたのでそれに向かって努力していく。皆様の助言等もお聞きしながら、また、気づいたことがあれば振興局へお問い合わせいただければと思っています。目標数値が決まりましたのでそれに向かって努力していくのが振興局、蒲江全体を動かすのも振興局だと思いますので、今後もご協力をお願いします。</p>
川上会長	<p>ありがとうございました。</p>
川上会長	<p>修正された文言は、事務局と確認して市へ提出したいと思っています。</p>
川上会長	<p>以上をもちまして終了いたします。</p>